



期待の登校、笑顔の下校

朝から暑い日が続いています。最近、登校時に虫かごを持った子がよくいます。虫かごの中にはカブトムシ、クワガタムシ、ヤモリ、ナナフシ、ダンゴムシ、なにかの幼虫……。嬉しそうに説明してくれる子もいます。登校時からの強い日差しに「あつすぎる～」と帽子を目深にかぶり「まいった～」という感じの子、「今日はプールなんだ！」と嬉しそうな子。(今年はいいペースで各学年ともに水泳の授業ができています)

今朝は、「今日も元気に来ました！」とニコニコ笑顔で挨拶した子がいました。「すばらしいね！」と声をかけると走って前の方にいた友達のところに行き、「校長先生にすばしいってほめられたんだよ」と声を弾ませてお話をしています。「私だって挨拶される前に挨拶したよ！」と返している子もいます。

6月26日から2週間、『先生あのね！』ウィークを実施しています。担任が一人一人から、4月からの生活や学習のこと、友達のことを丁寧に聞いています。普段はあまり話さない子も一人一人なのでお話できています。新しい学級がスタートして3か月。この後も学級が子どもたちにとって心地よい居場所になり、担任が理解者であるようにと考えています。

富貴島小学校の子どもたちが、学校での学習や友達とのかかわりに期待し、毎朝笑顔で登校し、下校時には今日を振り返り、楽しかった！と笑顔で下校できるようにしていきたいです。



クロマツとのかかわり

6月29日(木)『市川クロマツ会』の方が、委員会活動の時間に『花の輪委員会(栽培委員会)』の子どもたちへ「クロマツ講座」をしてくださいました。

クロマツは市川市の木です。特に富貴島小学校の校庭や近くの道、公園にはクロマツがたくさん見られます。樹齢100年以上の木もあり大事にされてきたのがわかります。「市川クロマツ会」の方と富貴島小学校とのかかわりは10年以上になり、2016年には一緒に種から苗を育て、植樹したそうです。



アーデル通り沿いの門の近くの囲いの中に元気に育っているマツがあるのでぜひ見てください。(ホームページ・学校の様子をご覧ください)

クロマツ講座では、マツボックリができるまでやその不思議な仕組みを教えてくださいました。今年度、また一緒に活動する予定です。

9月からの学校だより・学年だよりが変わります

9月から学校だより・学年だよりが変わります。二つの手紙を表・裏の1枚にまとめます。表面は学校だより(校長の話・各学年共通の連絡・月予定)、裏面は各学年のコーナー(学習の予定・学年だけの行事や持ち物の連絡)が入ります。このように変更する理由は、

- ・各学年の予定を一覧にまとめた方が学校の様子がわかる
- ・兄弟姉妹がいると複数の学年だよりが配付され、情報が煩雑になる
- ・手紙の枚数を減らす 等

のために考えました。運動会・臨時号の時の学年だよりのように、何か特別に連絡することが多い時には学年だより臨時号が出ることもあります。その時には事前にメール等で臨時号発行の連絡をいたします。慣れるまで少し違和感があるかもしれませんが、ご理解をよろしく願いいたします。

裏面に**見本**がありますのでご覧ください。